

建築研究所ニユース



令和6年9月9日

開発途上国8カ国13名の研究者や技術者が、今期の国際地震工学研修（通年研修）を修了し、全員が修士号を取得します。

国立研究開発法人建築研究所では、開発途上国の若手研究者や技術者を対象とした地震学、地震工学、津波防災の各分野に関する「国際地震工学研修（通年研修）」を実施しております。当研修は、1960年以来、64年に渡り実施され続けているもので、今期も(独)国際協力機構及び政策研究大学院大学と連携して進めて参りました。本研修の内容は高度で専門的なものであり、受講及び修士論文の提出を条件に、修了後には修士号(防災政策)の取得が可能になっています。

今期の国際地震工学研修では、8カ国から来日した13名の研修生は、令和5年10月より一年間にわたる講義と指導を受け、また、阪神・淡路大震災や東日本大震災の被災地や復興の様子の見学を通して、日本が有する貴重な経験に基づく科学、技術および防災の考え方を学んでまいりました。そして、この度参加者全員が研修を完了し、修士号を取得できることとなりました。1年間の長きにわたり国許を離れ、最後まで研修をやり遂げた研修生各人の熱意と努力のたまものです。

閉講式には、この研修に参加した13名の研修生全員が出席する予定です。

<参考：第64回国際地震工学研修閉講式の日程等>

日時：令和6年9月10日（火）11:00～(30分程度)

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂（つくば市立原1）

研修修了生の出身国と人数（単位：人）：

アルジェリア（2）、インドネシア（4）、エルサルバドル（2）、トルクメニスタン（1）、トルコ（1）、フィリピン（1）、ペルー（1）、マレーシア（1）

※ 現地取材はお問い合わせ下さい。

<参考2：これまでの研修修了者数（今回を含む）>

82カ国 1,270名（短期研修等を含めると105カ国 2,040名）

<その他研修に関する情報については、国際地震工学センターホームページを御参照ください>

（研修概要） <https://iisee.kenken.go.jp/jp/training/train/>

（ニュースレター） <https://iisee.kenken.go.jp/jp/newsletter/>

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人 建築研究所

（内容及び閉講式取材について）

所 属 国際地震工学センター管理室

氏 名 秋葉 泰彦

電 話 029-879-0678

E-mail y-akiba@kenken.go.jp

（公表資料(著作権)の取扱いについて）

所 属 企画部情報・技術課

電 話 029-879-0652

E-mail link-cl@kenken.go.jp